

「恥ずかしくて 報告しなかった」が原因！？

7月6日、申第35号「5月16日のひかり633Aの事態」に関する業務委員会を開催しました。

5月16日、ひかり633号の運転士が、車掌長を運転台に呼び、3分間運転室を離れたことに対して、その原因と今後の対策について議論しました。

その中で、組合側から今回の原因は何か問いただしたところ、「恥ずかしくて報告しなかった」のが原因であると回答しました。また、指令に報告しなかった原因は他にはないか!?再三問いただしましたが、会社は「恥ずかしかった」からとしか回答しません。私達はここに、この問題の本質があると考えます。

運転士は、自分の生理現象で電車を止めて、その後、会社の対応に恐怖したのだと考えます。その為、車掌にお願いしたのが、ギリギリの対応だったのではないのでしょうか!?

今回、マスコミでも大きく報道され、職場（乗務員・指令員等）に於いては、関係する全社員に個人面談し、今後の対応について指導がされました。しかし、常日頃から今回の指導や教育を行っていたら、指令に連絡し指示を仰いだはずで、それができない風土を作りだした会社の責任は重要です!!

また、「当該の運転士と車掌の処遇について、どうなっているか?」と質問しましたが、会社側委員は当該社員がその後、どうなっているか知らないと言っています!! 会社の隠蔽体質が、今回の事故の要因でもあります!!

私たち東海労は、乗務員の労働条件を第一に考え、今後も働きやすい職場にするために、闘っていきます!!